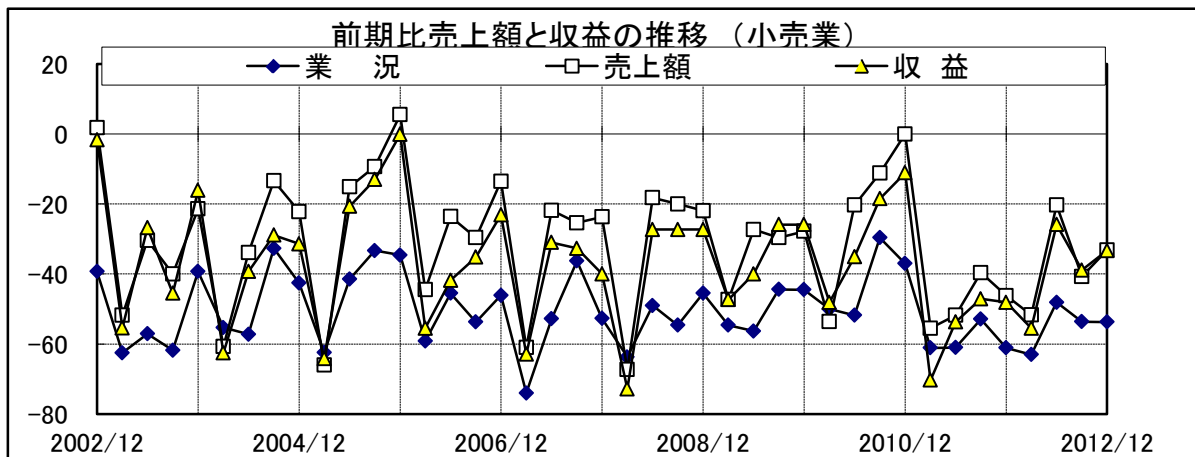


小 売 業 54 企 業 (回 答 率 100%) の 調 査 結 果 で す

□ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期見通し
業 況	-48.1	-53.6	-53.7	-59.2
売上額	-20.3	-40.7	-33.2	-49.9
収 益	-25.9	-38.9	-33.3	-49.9

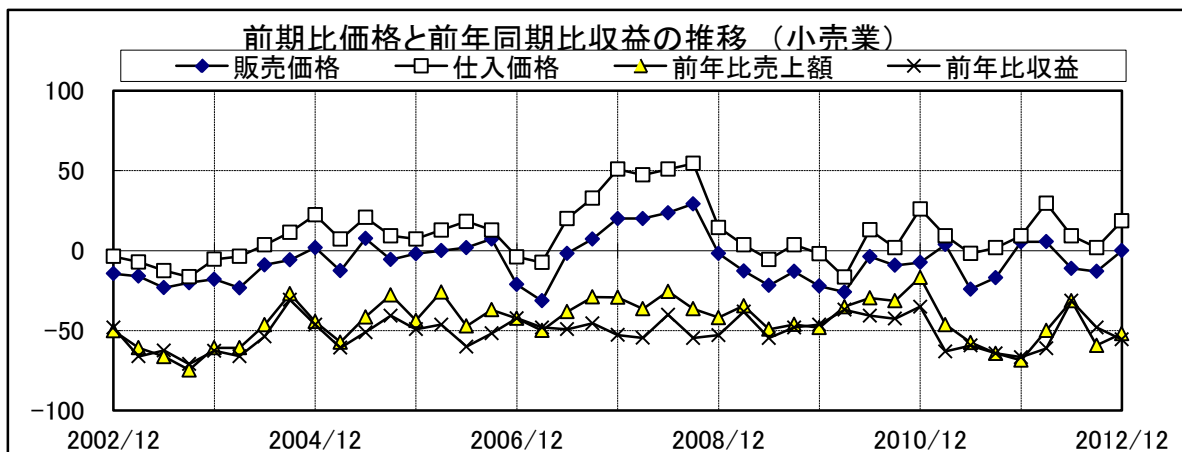
今期の業況判断DIは△53.7と、前期比0.1ポイント下降、ほぼ横ばいの値となった。地区別にみると、静内、三石、えりも地区で上昇、浦河、様似尾地区で下降している。広尾地区はほぼ横ばいとなっている。売上額判断DIは△33.2と、前期比7.5ポイント上昇した。収益判断DIは△33.3と、同比5.6ポイント上昇し低下基調を弱めている。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	-11.1	-13.0	0.0	-14.9
仕入価格	9.3	1.9	18.5	-3.7

販売価格判断DIは、ゼロ水準となり、前期から13.0ポイント上昇した。仕入価格判断はDI18.5と、前期比16.6ポイント上昇、価格上昇基調を強めている。業種別にみると、食料品は販売価格が下降、仕入価格は上昇した。衣料品と家電品では販売価格、仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	-11.1	-7.4	-1.9	-9.2
人手状況	-3.7	-3.7	-18.5	-7.4

残業時間判断DIは△1.9と、前期比5.5ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△18.5と、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

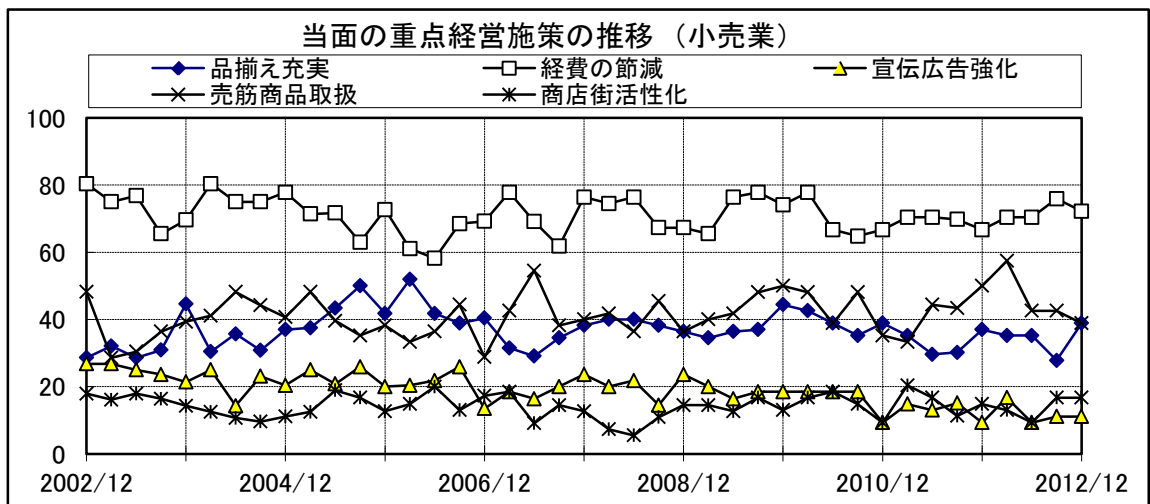
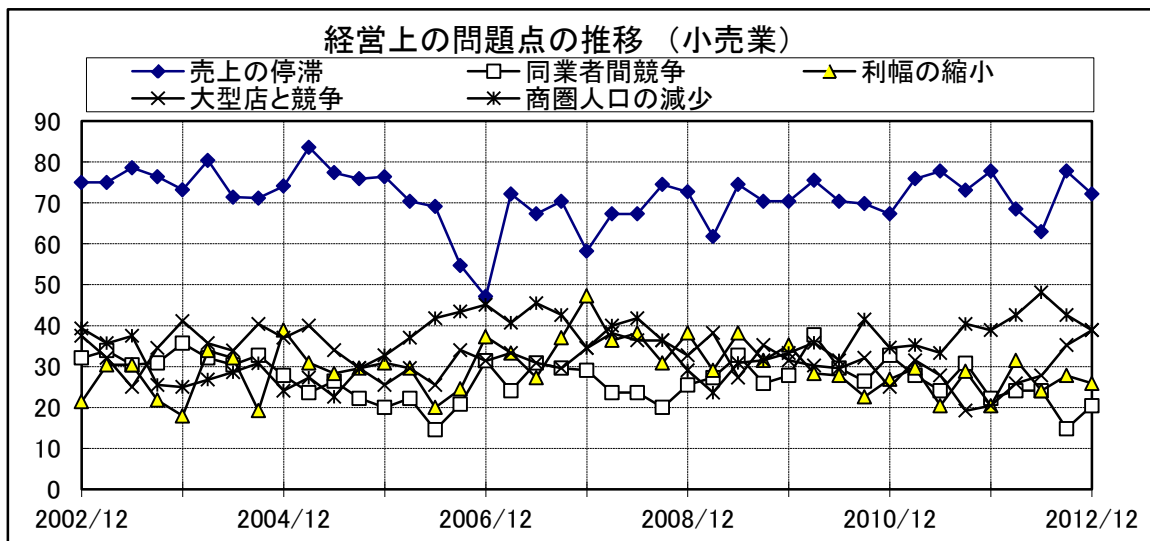
設備投資の充足感を示すD Iは△16.7と、前期比1.9ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は9.3%と、前期比1.8ポイント下降し前期の6社に対し5社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ72.2%、次いで「商圈人口の減少」、「大型店との競合」が同率の38.9%、「利幅の縮小」25.9%、「同業者との競合」が20.4%の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ72.2%、次いで「売れ筋商品取扱い」、「品揃えの充実」が同率の38.9%、「仕入先を開拓選別」20.4%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△59.2と、今期比5.5ポイントの下降を見通している。予想売上額判断D Iは△49.9と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。予想収益判断D Iも△49.9と、今期比16.6ポイントの下降を見通している。予想販売価格判断D Iは△14.9と、今期ゼロ水準から14.9ポイントの下降を見通している。予想仕入価格判断D Iは△3.7と、今期18.5比22.2ポイントの下降を見通している。

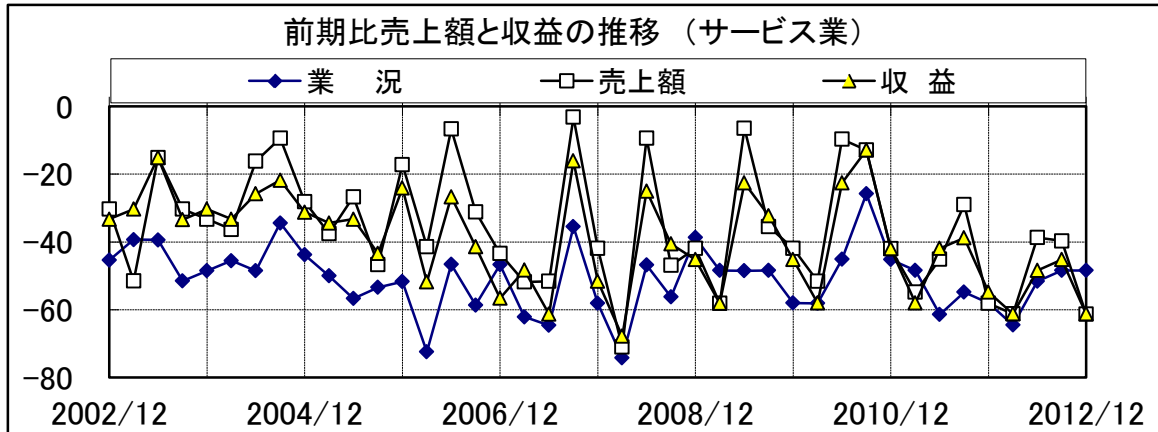
サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 期 見通し
業 況	-51.6	-48.4	-48.4	-64.6
売上額	-38.7	-38.7	-61.3	-67.8
収 益	-48.4	-45.2	-61.2	-61.3

今期の業況判断DIは△48.4と、前期横ばいの値となった。地区別にみると、三石、えりも地区が下降し、広尾地区で上昇している。静内、浦河地区は横ばい。

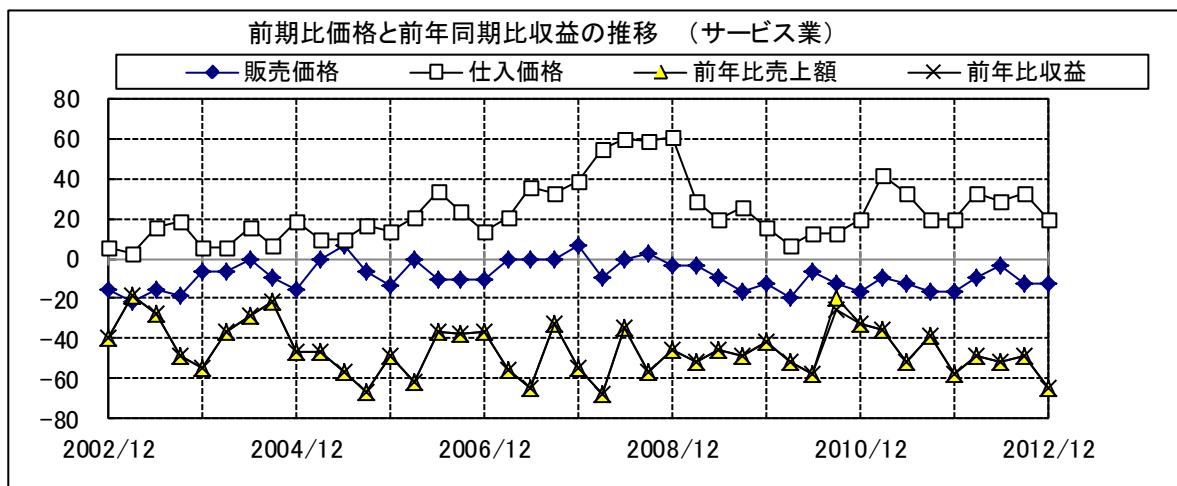
売上額判断DIは△61.3で、前期比22.6ポイント下降した。収益判断DIは△61.2と、同比16.0ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 期 見通し
料金価格	-3.2	-12.9	-12.8	-16.1
材料価格	29.1	32.3	19.4	19.3

料金価格判断はDI△12.8と、前期比0.1ポイント上昇、ほぼ横ばいの値となっている。材料価格判断DIは19.4と、前期比12.9ポイント下降し、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると旅館・洗濯理美容業は、料金価格は横ばい、材料価格は下降した。自動車整備業では料金価格は上昇、材料価格は下降している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 期 見通し
残業時間	-25.8	-29.1	-19.4	-25.8
人手状況	-16.2	-3.3	-6.4	-3.2

残業時間判断DIは△19.4と、前期比9.7ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは△6.4と、前期比3.1ポイント下降し、人手不足感が強まった。

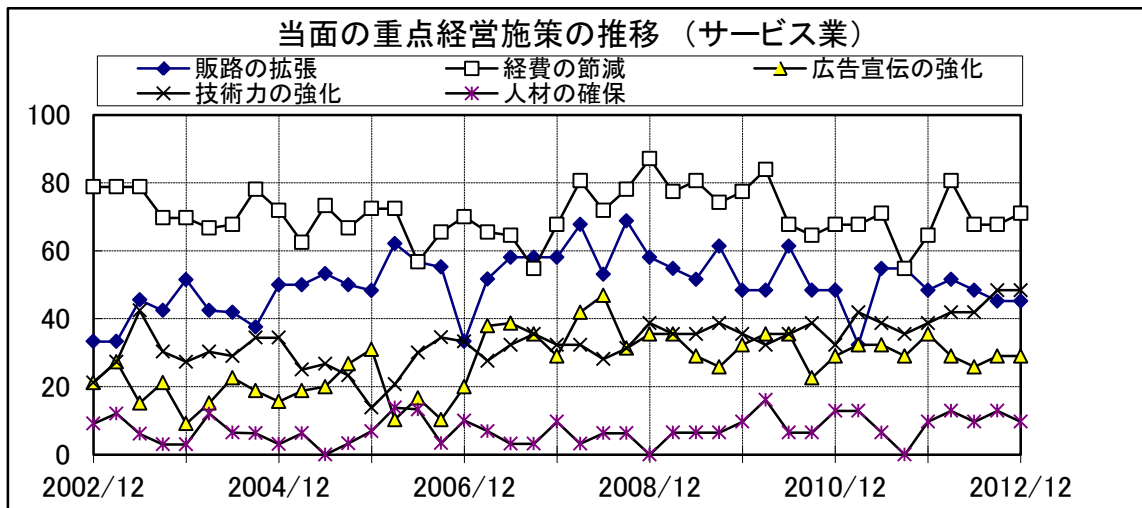
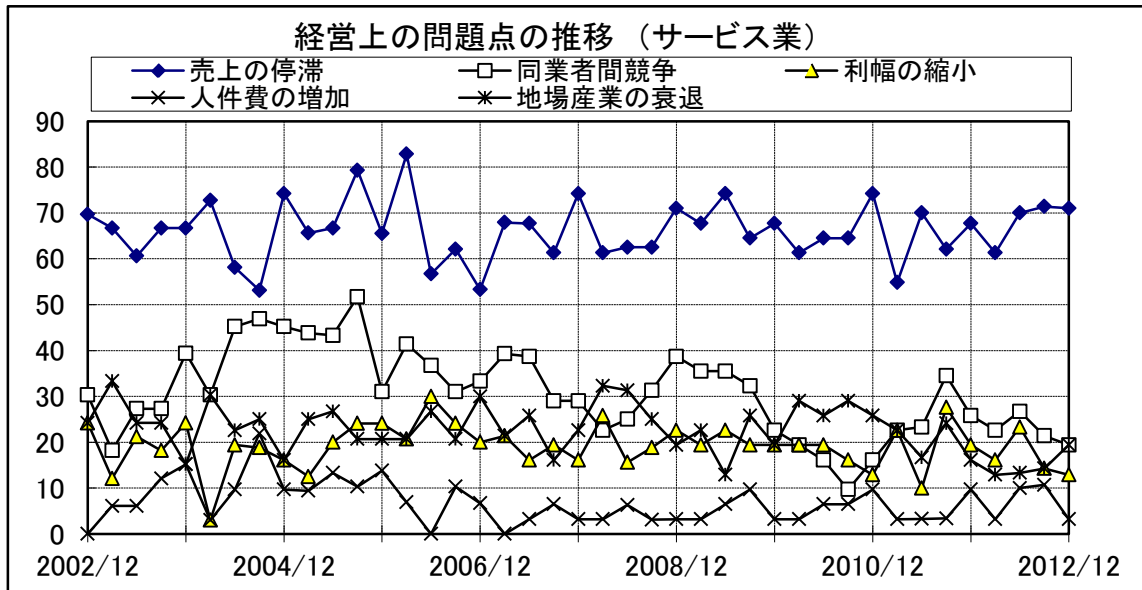
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△20.1と、前期比2.4ポイント上昇し不足感を弱めている。設備投資実施企業割合は29.0%と、前期の8社に対し9社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ71.0%、次いで「商圏人口の減少」54.8%、「同業者との競合」、「材料価格の上昇」、「地場産業の衰退」が同率の19.4%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.0%、次いで「技術力を強化」48.4%、「販路を拡張」45.2%、「宣伝広告の強化」29.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△64.6と、今期比16.2ポイントの下降を見通している。予想売上額判断D Iは△67.8と、今期比6.5ポイントの下降を見通している。予想収益判断D Iは△61.3と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。予想料金価格判断D Iも△16.1と、今期比3.3ポイント下降し、価格低下基調が強まる見通しとなっている。一方、予想材料価格判断D I 19.3は、今期比0.1ポイント上昇し、ほぼ横ばいの見通しとなっている。